

# TICAD7 JICA Side Event

日時:8月29日(木) 10:00 - 11:30

場所:ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル「ラ ヴェラ」



共催: 国際農業開発基金 (IFAD)

## 100万人の農家にSHEPを

### 背景

Smallholder Horticulture Empowerment & Promotion (SHEP) アプローチは、「儲かる農業」を実現するための農業普及手法である。農家に対し、「作ってから売る」から「売るために作る」への意識変革を起こし、農業生産性の向上と市場対応力を身に付けることによって、農家が自らの力で所得向上を実現させることへと導く。もともとSHEPは2006年に始まったケニアとJICAの技術協力プロジェクトにおいて開発されたアプローチであるが、わずか2年間で2,500もの小規模農家の収入を倍増させている。2013年の第5回アフリカ開発会議(TICADV)でSHEP広域化が発表されて以降、SHEPの知識が徐々に浸透し、現在アフリカ20カ国以上で農業普及ツールとして採用されている。今後、SHEPアプローチが農業普及ツールとして「ふつう」化されるよう、多様な関係機関との協力が始まっている。

### 目的

- ▶ 包括的な農村変革の推進とSDGsの達成における農業および農村アドバイザーサービスの重要な役割について考察する。
- ▶ SHEPアプローチの意義と成果を広く共有する。
- ▶ アフリカ政府関係者および民間、関連団体とともに、SHEPアプローチを農業普及に取り込み100万人の農家のより良い暮らしを実現するための共同宣言を行う。

### 登壇者

越川和彦 JICA副理事長(調整中)  
Gilbert Hounbo (国際農業開発基金総裁) ケニア農業大臣(調整中)  
マダガスカル農業大臣(調整中)  
Roth k Oniang'o ササカワアフリカ財団会長  
伊藤忠商事株式会社社長(調整中)  
三井物産株式会社(調整中)

言語: [日本語](#) [英語](#) [仏語](#)